

2020年 東部部会 第3回 研究報告会の開催報告

日本中小企業学会東部部会の第3回オンライン研究報告会は、オンライン会議システム「Zoom」を利用して開催され、活発な議論が展開されました。

■日時 2020年7月15日（水） 17:00～18:00

■実施方法：Zoomによるオンライン報告

■参加者：19名

■【研究報告】

報告者：藤野 洋（西武文理大学）

テーマ：2010年代の英国の中小企業政策の回顧と日本への含意

ホスト・司会：遠山恭司（立教大学）

報告内容：

1974年の英国ボルトン委員会報告から40年、2012～2015年にかけて創業促進を軸とした政策展開の起点となる「ヤング報告」と「中小企業、企業家精神、雇用法（SBEEA）」の体系的な紹介、および日本への政策的含意が報告された。EUを先導するような内容で諸施策が矢継ぎ早に実施され、2010年代前半には行政管轄に拘泥されない総合政策（LEPs）の展開が評価できると指摘した。2010年代後半にはベンチャー支援に加えて「既存」中小企業の底上げへ重点が移り、生産性向上施策が課題となったビジネスベーシックプログラムが実施されていると述べられた。ディスカッションでは生産性概念の捉え方、中小企業の現場・実態からの評価、日本の近代化政策・到達点を踏まえた視点からの考察など、多角的な論点で議論が交わされた。

